

大自然の蒜山高原

つい最近まで「蒜山」を（ひるぜん）と読めなかった私。日本には難しい呼び名の地名が沢山ある。東京では御徒町、業平、東雲、日暮里、石神井、福生、青梅……。京都でも烏丸通、太秦、先斗町、壬生……。日本人でもそうであるように外国人から見れば、もっと厄介な漢字の地名となっているはずだ。

蒜山高原は岡山県真庭市北部にある標高 500m～600mの高原地帯にあり、日本を代表するリゾート地の一つになっている。関西・中国方面の軽井沢とも呼ばれている。私にとってここは初めての訪問だ。鳥取県と岡山県境に鬼女台（きめんだい）展望休憩所があり、そこからは雄大なパノラマの景色が広がっていた。更に遠くの街並みが箱庭のように見えた。そして晴れていれば大山も見えるとか。ここでの主役は何といっても蒜山三山（上蒜山、中蒜山、下蒜山）で、ポツコリと美しい山を形成していた。



この地方の特産品に蒜山大根がある。火山灰土壌が大根の栽培に適しているようだが、私は毎日のおろし大根を食べている関係から非常に興味を覚えた。更に蒜山の名前を有名にしたのがジャージー牛製品。ここは日本最大級のジャージー牛の育成をしている牧場で、牛乳の生産量でも日本一を誇っている。少々値段は高いが本物の味わいが楽しめる。そして大自然の中で食べる B 級グルメ「ひるぜん焼そば」独特のタレと鶏肉が美味さの秘密だ。美しい景色もいいが季節は秋。「食欲に秋！」に限るね。

撮影 2014 年秋

